

社会福祉法において各保育所では、保育の質の確保・向上に実効性のある自己評価に取り組み、利用者様へ情報の提供が義務付けられています。そこで岩屋保育園でも「平成30年度施行保育所保育指針のチェックを含む保育所保育のチェックリスト100」をもとに自己評価を実施し、情報開示をさせていただきます。

令和4年度自己評価に関する情報開示

保育士は、保育所の保育チェックリスト100を使用し評価を行い、給食室職員は、食育・食事の提供等に関するチェックリスト100と、衛生管理チェックリスト50を使用し評価を行った。尚、1回目(4月~9月)2回目(10月~3月)と年2回行い、レーダーにより1回目と2回目の評価の結果を表している。また、個人の集計結果と施設全体での集計結果を出し、施設全体での結果を下記に記載。後期では年間自己チェック表の記述も行い、こちらも下記に記載している。

○食育・食事の提供等に関するチェックリスト100

食育・食事の提供等に関するチェックリスト100

岩屋保育園

自己評価集計結果(施設)

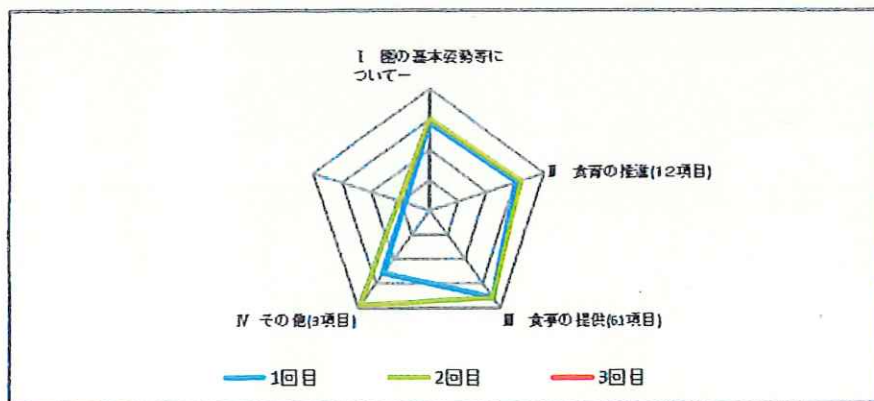
<評価方法>

理解し実施している...◎ 3点 一部実施している...○ 2点 不安がある...▲ 1点 実施していない...× 0点

集計結果(チェック2回分)

評価	回答人数 入力してください		1回目				2回目			
	◎	○	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢等について(24項目)	13	37	11	11	18	30	16	8		
II 食育の推進(12項目)	7	18	9	2	10	15	9	2		
III 食事の提供(61項目)	88	56	18	21	77	65	32	9		
IV その他(3項目)	4	0	2	3	5	3	0	1		

レーダー



○衛生管理チェックリスト50

衛生管理チェックリスト50

岩屋保育園

自己評価集計結果 (施設)

<評価方法>

理解し実施している…◎ 3点 一部実施している…○ 2点 不安がある…▲ 1点 実施していない…× 0点

集計結果 (チェック2回分)

評価	回答人数	1回目				2回目			
	入力してください	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
	1 記録・点検、設備確認(7項目)	1 人	6	0	1	0	7	0	0
2 調理従事者等の衛生管理(10項目)		8	1	0	1	7	1	0	2
3 原材料の受け入れ・下処理段階における管理(6項目)		2	2	0	2	1	2	1	2
4 加熱調理食品の加熱温度管理(1項目)		1	0	0	0	1	0	0	0
5 二次汚染の防止(14項目)		9	5	0	0	2	12	0	0
6 原材料及び調理済み食品の温度管理(5項目)		5	0	0	0	3	2	0	0
7 その他(7項目)		5	1	0	1	6	1	0	0

レーダー



○年間自己チェック表から見えてくるもの

※個人

(今年度の評価点)

- ・給食の内容としては、新メニューを入れる事も出来て良かった。
- ・食材の入れ忘れで除去食の間違い等なく、給食を提供することができた。

(今年度の課題点)

- ・提供時間の遅れ。
- ・クッキングを行う目標を立てていたが、中々できずに終わってしまった。
- ・給食室の清掃する時間が短かく、隅々までできなかった。

(次年度の改善点)

- ・衛生管理向上のため給食室の清掃をこまめに行う。
- ・時間配分を考えて動く。

・引き続き新メニューを取り入れていきたい。

・クッキングを行う事を目標にしたい。

(今年度の評価を踏まえ、次年度「指導計画」へ盛り込む内容)

- ・時間配分を考え、提供できるようにする。
- ・クッキングを通して、子どもが食事により興味関心をもてるように、保育士と話し合う。

○保育所保育のチェックリスト100

保育所の保育のチェックリスト100

岩屋保育園

自己評価集計結果 (施設)

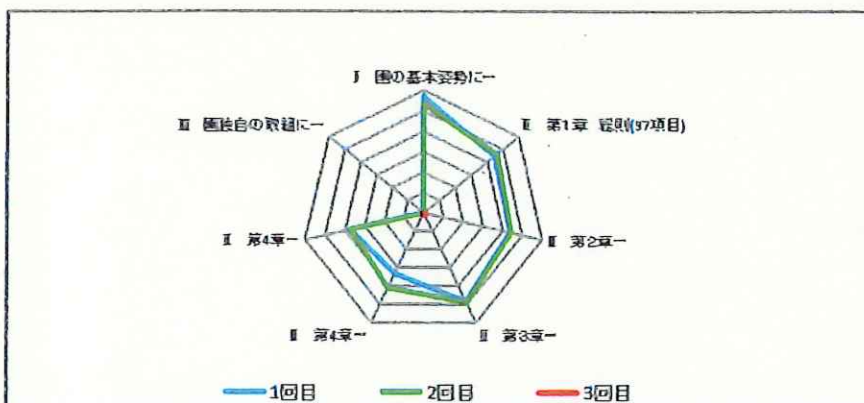
<評価方法>

十分理解できている(十分できている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

集計結果 (チェック2回分)

評価	回答人数	1回目				2回目			
	入力してください	◎	○	▲	×	◎	○	▲	×
I 園の基本姿勢について(5項目)	16 人	7	46	23	4	4	47	22	2
II 第1章 総則(37項目)		14	250	251	59	24	247	252	46
第2章 保育の内容(33項目)		26	205	208	68	32	179	248	47
第3章 健康及び安全(13項目)		23	88	59	37	9	102	75	10
第4章 子育て支援(4項目)		1	16	29	14	2	20	33	8
第5章 職員の資質向上(6項目)		8	25	34	29	3	23	52	12
III 園独自の取組について(2項目)		0	0	0	0	0	0	0	0

レーダー



○年間自己チェック表からみえてくるもの

以上見より

※個人

(今年度の評価点)

- ・ 戸外遊びを多く取り入れたので、体を十分動かして遊ぶことができていた。
- ・ 室内でも子どもが自由に好きな遊びができるよう、環境をつくったことが良かった。
- ・ 本を好む子が多かったこともあり、様々な本を準備したことで文字に興味関心を持つ子が増えた。
- ・ 子どもに寄り添って関わり、信頼関係が築けたと思う。
- ・ 身のまわりの始末が、自分で理解して出来にくい子がいたものの声かけや援助、まわりの子の協力も得て、できるようになった。

(今年度の課題点)

- ・ 戸外でたくさん遊ぶことができ、楽しんでいたがどうしても制限されてしまう時もあったので、時間配分を考える。
- ・ 散歩時期に行事への練習に当てすぎて、主に秋の自然への触れ合いが少なかった。
- ・ 得意不得意などもしっかり見極めて保育を進める事が課題。

(次年度の改善点)

- ・ 同じ遊びばかりで楽しんでしたが、他の遊びにも興味をもてるようにする。
- ・ 時間配分も余裕をもってとる。
- ・ 子どもの様子や反応から、様々な体験ができるように計画する。
- ・ 一人一人に合ったかわり方をし、型にはめずゆとりをもって成長の手助けになる保育を心掛ける。

※クラス運営

(今年度の評価点)

- ・行事では無理しない程度に早めに取り組むことができた。
- ・様々な行事も子どもと話し合い活動に取り入れる事で、意欲的に活動できた。
- ・身の回りの事を自ら行えるよう、様々な事を遊びに取り入れて積極的に行動できるようにした。

(今年度の課題点)

- ・練習の時期を早くから行い、短時間練習を目標としていたが、本番間近に変更などをしてしまい、長時間の練習になってしまう。
- ・子どもの中には、意見を話せない子もいたのもっと声を拾えるようにする。
- ・一斉保育になりやすいので、個人別に寄り添い、関わってクラス全体も成長できるようにする。

(次年度の改善点)

- ・早めの変更、調節を行い、子ども達の負担にならないようにする。
- ・練習の時間ばかりではなく、散歩などの遊びを取り入れる。
- ・子どもの興味関心を引き出すような保育。

未満児より

※個人

(今年度の評価点)

- ・子ども達の興味関心を把握し、遊びを広げられるようにした。
- ・コーナー遊びができる環境を整え集中して遊べるようにした。
- ・ゆっくりとした声かけてその子の欲求に寄り添って関わった。
- ・信頼関係を築き、安心して過ごせるよう関わる。
- ・感染症対策として、掃除や玩具の消毒等を毎日丁寧に行う。
- ・担任同士、子どもの様子や遊び生活における進め方について話し合いながら、共通理解に努めた。

(今年度の課題点)

- ・日々の保育に追われてしまう日があり、丁寧に一人一人の対応が行えない事もあった。
- ・担当制なので、他の子にどこまで手を出して良いか迷うことがある。
- ・今何が必要かしっかりと見極める事がまだまだ出来なかった。
- ・子育て支援、保護者支援の勉強を行ったが、園の中でのできる取り組みが十分ではなかった。

(次年度の改善点)

- ・楽しいと思えるように子どもの育ちを含めて保育のドキュメンテーションとして知らせ情報提供を心掛けたい。
- ・余裕を持った保育を心がけ、一人一人に丁寧に関わり成長や発達を促していけるようにする。
- ・保育者間の情報共有をしっかりと行う。

※クラス運営

(今年度の評価点)

- ・知育玩具を少しずつ提供することで、座って遊べるようにした。
- ・担当制で個々に関わる時間を持た事で信頼関係を築くことができた。

(今年度の課題点)

- ・担当制により担当の子ども以外への関わりが少なかった。
- ・一人が落ち着きなく動くことで、周りにも伝わり全体的に騒がしくなることがあった。

(次年度の改善点)

- ・保育の進め方や子ども一人一人の成長について話し合う時間をマメにとる。

○園全体の自己評価

(今年度の評価・課題・改善点)

・コロナ対策を行いながら、普段の保育や行事の開催ができた。また、子ども一人ひとりが安心して、好きな遊びを伸び伸びと行えたことで、保育者や友だちとの関係も良好に築けていた点は評価点とする。しかし、自己チェック表に書かれた課題点をみると、行事前は特に練習に時間を多く使い、遊びの時間が不十分だったり、担当以外の子どもとの関わりが少なかった等の意見もあった。

子ども主体の保育について学び、より良い保育を心掛ける。

(今年度の評価を踏まえ、次年度「指導計画」に盛り込む目標やねらい)

- ・今後のコロナに対する対応。
- ・保育士の虐待問題。
- ・事故防止についての園全体での共通理解。

○まとめ

・今年度の自己評価をもとに、次年度も園全体で子ども達について考え、よりよい保育を行っていきたい。